



日本福祉大学

オンデマンド配信版

学校福祉2024

教育、福祉、心理の視点から子どもと学校が抱える福祉的課題に総合的にアプローチできる専門性を養います

チーム学校を
進めるための仲間づくり

こんな方に

- 学校の教員（養護教諭、司書教諭を含む）、指導主事
- 教職経験者
- スクールソーシャルワーカー
- 社会福祉協議会
- 行政などの職員の方 など
- 学校支援関係者
- スクールカウンセラー
- 地域包括支援センター

本プログラムに興味があるすべての方



貧困・虐待・不登校・いじめ・暴力・発達障害をはじめとするさまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するために、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの養成と学校への配置、教師を含めた多職種連携（チーム学校）が進められてきました。

とはいえ、子どもたちを支援する専門職者はまだ十分ではありません。

そこで日本福祉大学では、子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理にかかわる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身につけてもらうため「履修証明プログラム学校福祉2024」を開講します。

申込期間 2024年4月15日(月)～9月30日(月)

受講料 2,000円(税込) / 1コンテンツ

※全22コンテンツのうち、好きなものをお選びいただけます

時間 80分～120分 / 1コンテンツ

視聴期間 入金後から30日間

※全22コンテンツ購入の場合は、90日間になります



講座の詳細は
こちらをご確認ください

問い合わせ連絡先

日本福祉大学リカレント教育事業部企画事業室

〒460-0012 名古屋市千代田5-22-35

TEL 052-242-3069 FAX 052-242-3020

(受付時間：平日10時～17時)

E-mail recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

学校福祉2024 オンデマンド配信版 コンテンツ一覧

	タイトル	学習内容	担当
1	【特別対談】 権利主体としての子どもをどう育てるか	教育福祉論の水脈をたどる	高橋 正教／鈴木 庸裕 ／山本 敏郎
2	いまなぜ学校福祉なのか	学校の持つ福祉的機能の内発的發展	鈴木 庸裕
3	教育と福祉をつなぐ(1)	福祉に内在する教育的機能	高橋 正教
4	教育と福祉をつなぐ(2)	社会的養育の今日的課題	遠藤 由美
5	生きづらさの窓を開く(1)	学校から排除された子どもたち－教育職から見た子どもの苦悩－	丹下 加代子
6	21世紀教育改革の諸相と真相	ゼロトレ、PDCA、学校スタンダードを問う	藤井 啓之
7	教育観・子ども観の転換と学校制度	生活主体としての子ども、学校改革の新しい動向	山本 敏郎
8	子どもの声を聴くということ	子どもの声が聞こえてくるように聴く	鎌倉 博
9	子どもの育ちを支える文化	命輝く瞬間を仲間とともに	南 寿樹
10	生きづらさの窓を開く(2)	非行をする少年の現状、子どもの人権擁護	湯原 悦子／渋谷 幸靖
11	非行・問題行動の克服支援	貧困・虐待－家庭から排除された子どもたち－	木村 隆夫
12	子どもと地域福祉	福祉教育が支える主体形成	小林 洋司
13	子どもの権利と学校	子どもの権利が息づく学校にする	間宮 静香
14	生きづらさの窓を開く(3)	発達障害を抱えた子どもをもつ親として	NPO法人 アスペ・エルデの会
15	医療から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもにとっての発達環境	牧 真吉
16	相談室から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもと学校適応	堀 美和子
17	子どもとともに生きる－保育専門職	他職種との連携を活かして	平松 知子
18	子どもとともに生きる－小学校教諭	他職種との連携を活かして	板垣 賢二
19	子どもとともに生きる－特別支援学校教諭	他職種との連携を活かして	大宮 とも子
20	子ども・家族支援と多職種連携	心理職固有のアセスメント	瀬地 山葉矢
21	個別支援と多職種連携	福祉職固有のアセスメント	杉原 里子
22	多職種連携の現状と課題	チーム医療からの提案	藤井 博之
23	全 22 コンテンツ		

全 22 コンテンツ 受講特典



通常（全 22 コンテンツ）44,000 円（税込）が受講料特別割引で **30,000 円**（税込）



視聴期間をたっぷり **90 日間** に延長！



翌年度、同講座の履修証明プログラムをお申し込みいただいた場合、
講義部分（オンデマンド配信）の受講が免除（※） されます！

※全 22 コンテンツを受講された方には、一部履修証明を発行することが可能です。こちらの証明書をご提出いただくことが
翌年度の講義 受講免除の条件となります

※一部履修証明書の発行のためには全 22 コンテンツの受講のほかに、課題レポートの提出が必要です。ご希望の方は視聴
期間終了までに「一部履修証明書を発行を希望」の旨、申請ください

※一部履修証明書の有効期限はお申し込みの翌年度までとなっております。翌々年度以降、証明書は無効となりますのでご注意ください